

大阪の歴史と文化シリーズ

水の都「大阪」の「水」、近代以降の先人たちの挑戦 ～桜満開の淀川べりを水道博物館から毛馬施設へ～

かつて大阪は、たびたび起こる淀川などの洪水により大きな被害を受けてきました。1885(明治18)年、1889(同22)年、1896(同29)年と河川の氾濫が頻発し、そのたびに洪水や高潮の被害、大阪港の土砂堆積、伝染病の大流行などが起こりました。これを契機に実施されてきた淀川の改良工事や施設建造物など水都「大阪」の治水や利水に挑戦した先人たちの夢の跡を追って、桜が咲き誇るリバーサイドをぶらWALKしませんか。



▲ 大阪の桜の名所 毛馬桜の宮公園

▼ 国の登録有形文化財「水道記念館」



- 【日時】 2023年4月4日(火) 10時30分～13時 少雨決行
- 【集合】 大阪メトロ御堂筋線 西中島南方駅 ②出口 南改札口 午前10時30分
(阪急京都線 南方駅 きた西改札口から南に60m)
- 【コース】 西中島南方駅～水道記念館～長柄橋～淀川河川公園・淀川改修紀功碑
・旧毛馬第一閘門・旧毛馬洗堰～淀川大堰・毛馬排水機場・毛馬水門・毛馬閘門
～与謝蕪村誕生地碑～閘門内の船の航行見学～蕪村公園～毛馬橋バス停
- 【参加費】 500円(ガイド料・資料・保険代込)
- 参加費の一部を、公益財団法人 チャイルド・ケモ・サポート基金に寄付いたします
- 【参加申込】 4月2日(日)までにホームページの申込フォームまたはメールで

※ 天候やコロナ感染状況により、やむを得ず中止をする場合があります。



NPO 法人 大阪ウォーク・トーク
E-mail osaka.walktalk@gmail.com
ホームページ <https://osakawalktalk.org/>
右のQRコードを読み取り、あるいはURLを入力しホームページへ